

会 告

社団法人農業土木学会第 38 回通常総会の報告	82
平成 17 年度名誉会員の推挙	82
社団法人農業土木学会代議員について.....	83
平成 18 年度農業土木学会賞候補の推薦について(再)	83
平成 18 年度日本農学賞候補の推挙について(再)	83
「学会の名称について」シンポジウムの開催について ㊦	84
第 29 回水の週間「ウォーターフェア 05 東京」農業用水の展示出展について(再).....	84
平成 17 年度農学系 JABEE 審査員養成研修会への参加のお願い(第 2 報) ㊦	84
農業土木学会論文集印刷用(完全版下)原稿作成について.....	85
投稿原稿の閲読状況が確認できます!	85
国際学会「国際水田・水環境工学会」入会のお願いと	
国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」の配布について	86
国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」への投稿の勧め.....	86
農業土木学会誌への投稿お待ちしております!小特集以外の投稿も歓迎します.....	87
学会誌掲載待ち自主投稿原稿の掲載について.....	88
あなたの写真で学会誌の表紙を飾ってみませんか 平成 18 年「農業土木学会誌」表紙写真の募集	88
第 54 回北海道支部研究発表会の開催について(第 1 報) ㊦	89
平成 17 年度東北支部総会・第 49 回研究発表会並びに第 39 回支部研修会・	
第 29 回地方講習会について(第 1 報) ㊦	89
第 62 回京都支部研究発表会の開催について(第 2 報) ㊦	89
第 60 回中国四国支部講演会の開催について(第 2 報) ㊦	91
平成 17 年度九州支部講演会(第 86 回)・シンポジウム開催について(第 1 報) ㊦	92
第 44 回(平成 17 年度)畑地かんがい研究集会開催について ㊦	93
平成 17 年度農村計画研修会(第 27 回現地研修会)について(再) ㊦	94
農地保全研究部会第 26 回研修会(第 1 報) ㊦	95
国際水田・水環境工学会 2005 年国際研究集会の開催について ㊦	95
第 57 回 ICID 国際執行理事会 / 第 3 回アジア地域会議における	
“WATSAVE ワークチーム”への発表論文募集について(第 1 報)	97
第 43 回粉体に関する討論会講演募集について	98
学会記事	99

第 73 巻 8 号予定

展望: 災害に強い農業・農村を目指して: 片桐 正彦

小特集: 農業土木の防災技術

国際防災の 10 年(1990~1999)から 21 世紀型の防災へ: 中島 久宜

台風第 23 号による淡路島のため池被害について: 若林 徳朗

大氾濫災害時における農業農村整備事業の役割 平成 16 年 7.13 新潟豪雨 : 酒井 博之他

台風来襲時における諫早湾干拓の防災効果について: 山根 伸司・植木義春

大規模農地災害における緊急対策のための調査観測技術: 黒田 清一郎他

中山間地域における総合防災システムについて: 谷 茂

地震時の農地・農業用施設の震度・液状化推定システム: 井上 敬資他

動き出した中越震災地域の復興: 有田博之他

小特集: 支部活動および中央研修会

寒冷地の農業基盤整備にかかわる課題克服の軌跡と展望: 北海道支部

地域で育むみやぎの田園: 東北支部

関東支部第 28 回地方講習会および支部研修会: 関東支部

農村の環境と資源の維持保全: 京都支部

農業・農村と環境保全について: 中国四国支部

九州・沖縄における水と土に関する諸問題: 九州支部

中央研修会

技術リポート

北海道支部: 泥流地帯における暗渠排水管閉塞の対策技術: 北川 巖他

東北支部: 絶滅危惧種との出会いから「水路から環境を考えるプロジェクトチーム」の取組み : 野村 陽子

関東支部: 農業用水を活用したマイクロ水力発電の可能性について: 市瀬 広幸

京都支部: H 16.7.13 新潟・福島豪雨における地域排水への対応: 福川 和彦他

中国四国支部: 農業農村整備事業の広報活動: 加藤伸哉

九州支部: 幹線排水路における水路護岸の構造検討: 山本奉彦

講座: バイオマス利活用(その 3): 講座: メタン発酵技術: 李 玉友

小講座: 空中物理探査: 中里 裕臣

私のビジョン: 元気だしていこー!新潟 中越大地震とため池被害 - 教訓を生かすために - : 関川 力

論文をかたる: 電気探査によるコンクリート構造物の診断手法の検討群盲の一人なれど、一言居士とならんと欲す: 小林 晃

農業土木学会（本部）行事の平成17年度計画

農業土木学会（本部）17年度行事について、下表のように計画しています。奮って参加下さるよう、お待ちしております。
 のマークが付されているものは農業土木技術者継続教育認定プログラム、または認定申請中（）を表しています。

開催日	主催	行事名	テーマ	開催場所	掲載号
平成17年8月 23～26日	平成17年度大会運営委員会	平成17年度大会講演会 		岐阜大学	73巻 1,3号

農業土木学会関連行事予定

平成17年8月 24日	応用水理研究部会	企画セッション 	農業土木分野における応用水理学研究の課題	岐阜大学	
平成17年8月 24日	水文・水環境研究部会	企画セッション 	メコンデルタの水文解析と氾濫域の環境保全農業	岐阜大学	
平成17年8月 25日	水土文化研究部会	企画セッション 	水土文化資源の多面的利活用 水土の記憶を活かす	岐阜大学	
平成17年8月 25日	材料施工研究部会	企画セッション 	地震による農業水利施設の被害、復旧工法、対策工法	岐阜大学	
平成17年8月 25日	農村計画研究部会	企画セッション 	中山間地域直接支払いの評価と展望	岐阜大学	
平成17年8月 25日	資源循環研究部会	企画セッション 	農業土木における資源循環への貢献 バイオマス資源利活用における課題と対応 エネルギー変換	岐阜大学	
平成17年8月 25日	畑地整備研究部会	企画セッション 	高品質化と畑地灌漑	岐阜大学	
平成17年8月 25日	農業農村情報研究部会	企画セッション 	農業土木における農業農村情報	岐阜大学	
平成17年8月 25日	農村生態工学研究部会	企画セッション 	農村生態工学の展望と課題	岐阜大学	
平成17年9月 1日	畑地整備研究部会	第44回畑地灌漑研究集会 	九州の畑作と生産環境	別府市	73巻7号
平成17年9月 7,8日	農村計画研究部会	平成17年度第27回現地研修集会 	豊かな農村資源を未来へ 地域が取り組むさまざまな保全のかたち	福井市	73巻2,6号
平成17年9月 29日	北海道支部	第54回研究発表会 		札幌市	73巻7号
平成17年10月 19日	中国四国支部	第60回支部講演会 		高松市	73巻6,7号
平成17年10月 20日	関東支部	第56回支部講演会 		甲府市	73巻6号
平成17年10月 27,28日	京都支部	第62回研究発表会 		金沢市	73巻5,7号
平成17年10月 28日	九州支部	平成17年度講演会（第86回）・シンポジウム 		長崎市	73巻7号
平成17年11月 8,9日	東北支部	平成17年度東北支部総会・第49回研究発表会並びに第39回支部研修会・第29回地方講演会 		盛岡市	73巻7号
平成17年11月 10～11日	農地保全研究部会	農地保全研究集会および現地見学会 	棚畑および下流域における農地と環境の保全	鹿児島市	73巻7号
平成17年11月 17日	北海道支部	第33回研修会または第30回シンポジウム 		札幌市	
平成17年11月 17,18日	水文・水環境研究部会	第18回シンポジウム 	農林地および広域の水文・水環境	茨城大学 農学部	
平成17年11月 25日	土壌物理研究部会	第44回研究集会 	環境修復と土壌物理	東京大学	
平成17年11月	資源循環研究部会	平成17年度研究発表会 		幕張メッセ	73巻6号
平成17年11月	農業水利研究部会	研修会 			
平成17年11月 中旬	農村道路研究部会	平成17年度研究発表会および現地見学会 			
平成17年	材料施工研究部会	第43回シンポジウム 			
平成18年1月 25日	北海道支部	講演会 		札幌市	
平成18年3月	水土文化研究部会	第3回水土文化研究部会 	先人達の「水土の知」	農業工学研究所	

学会誌 73・74 巻の小特集・特別企画のテーマ

小 特 集 テ ー マ	要 旨 締 切 (A4判 1 500 字以内)	原 稿 締 切 (刷り上げ 4 ページ厳守)
73 巻 9 号 農村における生物多様性, 外来種(移入種)を巡る現状と課題(仮)	公募終了	平成 17 年 4 月 15 日
10 号 施設管理の 20 年の歴史を振り返る(仮)	公募なし	
11 号 農業水利施設のストックマネジメント(仮)	平成 17 年 4 月 25 日	平成 17 年 6 月 15 日
12 号	公募なし	
74 巻 1 号 おらが町の地域再生・町づくり(仮)	平成 17 年 6 月 24 日	平成 17 年 8 月 15 日
2 号	公募なし	
3 号 地域の資源保全と農業土木(仮)	平成 17 年 9 月 9 日	平成 17 年 10 月 15 日
4 号 美しい里づくり 景観法施行を背景として	平成 17 年 9 月 22 日	平成 17 年 11 月 15 日
5 号 農業土木の国際化のあゆみ(仮)	平成 17 年 10 月 25 日	平成 17 年 12 月 15 日
6 号 大会関連 関東支部(仮)	公募なし	
7 号 湿地・湿原関連	平成 17 年 12 月 22 日	平成 18 年 2 月 15 日
8 号	公募なし	

上記のテーマに沿った報文の投稿をお待ちしております。

なお、小特集のテーマは仮題となっておりますので、予告なく変更することがございます。会告 87 ページに掲載されている特集の趣旨をお読みいただいた後、要旨を学会誌編集委員会あてにお送りください。

送付先 〒105 0004

東京都港区新橋 5 34 4

(社) 農業土木学会 学会誌編集委員あて

☎03 3436 3418 FAX 03 3435 8494

E mail henshu@jsidre.or.jp

自主投稿原稿の募集

小特集以外の自主投稿も歓迎いたします。投稿の際には、73 巻 1 号および農業土木学会ホームページに掲載の「農業土木学会誌投稿要項」、「農業土木学会誌原稿執筆の手引き」を熟読の上、ご投稿ください。

社団法人 農業土木学会第38回通常総会の報告

第38回通常総会を開催したので、ここに報告します。

1. 日 時 平成17年5月17日(火) 15:00~16:00
2. 場 所 東京都港区新橋5-34-4
農業土木会館6階大会議室
3. 出席者数 (代議員総数110名)
堀井健次, 田山 清, 小前隆美, 丹羽啓文, 斉藤正樹, 稲橋信克, 大島洋介, 石島光男, 阿武隆弘, 中田峰示, 南出直志, 松浦 猛, 藤永 和生, 寺岡清澄, 川副 操, 花谷良助各代議員ほか, 委任状提出による代議員79名 計95名
4. 開 会
事務局より出席者(委任状提出者を含む)が, 定款第30条の規定の定足数に達していることを確認し, 有効に成立している旨を告げ, 開会を宣した。
5. 会長挨拶 田中忠次会長挨拶。
6. 議長選出
田中忠次会長を仮議長とし, 定款第28条の規定により議長選出を諮り, 全員一致をもって小前隆美代議員を議長に選出した。
7. 議事録署名人名選出
議長への指名一任により, 議長は次の2名を指名し, 議事録署名人名に選出した。
斉藤正樹代議員 中田峰示代議員
8. 議案審議
(1) 議案1.平成16年度事業報告

- 事務局から、「第38回通常総会議案」により内容を説明。原案どおり承認された。
- (2) 議案2.平成16年度収支決算
事務局から「第38回通常総会議案」により内容を説明。池田監事が監査報告を行い, 原案どおり承認された。
- (3) 議案3.平成17年度事業計画
事務局から「第38回通常総会議案」により内容を説明。原案どおり承認された。
- (4) 議案4.平成17年度収支予算
事務局から「第38回通常総会議案」により内容を説明。原案どおり承認された。
- (5) 議案5.名誉会員の推挙
事務局から「第38回通常総会議案」により内容を説明。原案どおり承認された。
9. 閉 会
議長は, 以上をもって全議案の審議を終了した旨を述べ, 総会は終了した。上記議決を明らかにするため, 議長および議事録署名人名は次に記名押印する。
平成17年5月17日

社団法人農業土木学会第37回通常総会
議 長 小前 隆美
議事録署名人名 斉藤 正樹
議事録署名人名 中田 峰示

平成17年度名誉会員の推挙

第38回通常総会の議により, 名誉会員推挙の内規に則って次の正会員(敬称略)を名誉会員に推挙し, これにより名誉会員の現在数は157名になりました。

馬場 正博	会員を30年以上継続した80歳以上の者	垣内 勝弘	理事(2期4年)
今井 勝美	会員を30年以上継続した80歳以上の者	山本 敏	理事(2期4年) 評議員(3期6年)
北村 良碩	会員を30年以上継続した80歳以上の者	吉川 汎	理事(1期2年)
湯川 勝太	会員を30年以上継続した80歳以上の者	谷山 重孝	理事(副会長)(2期4年)
米山 富雄	会員を30年以上継続した80歳以上の者	岡 喜康	評議員(2期4年)
嘉本久仁男	会員を30年以上継続した80歳以上の者	白岩 隆己	評議員(6期12年)
近藤 鳴雄	会員を30年以上継続した80歳以上の者	江崎 要	監事(2期4年) 理事(支部長)(1期2年)
中村 忠春	理事(支部長)(1期2年) 評議員(2期4年)		評議員(1期2年)
清原 祐孝	理事(1期2年) 評議員(1期2年)	翁長 謙良	評議員(4期8年)
山下 義行	評議員(3期6年)	内山 則夫	監事(2期4年) 評議員(2期4年)

社団法人 農業土木学会代議員について

会員による選挙の結果、第 19 期後期・第 20 期前期代議員が選出され、下記の方々にご就任いただくことになりました。

農業土木学会（第 19 期後期・第 20 期前期）代議員名簿（平成 17 年 6 月 1）

北海道支部

矢沢 正士 長澤 徹明 山上 重吉 森 繁 永井 良房 山崎 照夫 坂井 秀利 堀井 健次 川本 保雄

東北支部

中川 敬夫 丸田 雅博 福澤 隆二 川村 英幸 田山 清 岡崎 久雄 関川 正 黒子 高夫 藤原 信好

渡部 一之 茂木 功一 万木 正弘 今井 敏行 倉島 栄一 前川 勝朗 加藤 徹 佐藤 照男 白戸 明

関東支部

南部 明弘 齋藤 晴美 角田 豊 小前 隆美 美濃真一郎 舛井 操 大久保幸雄 藤巻 宣弘 清水 英昭

豊川 忠幸 西田 憲史 稲橋 信克 雨宮 進 山本 芳孝 松本 芳廣 丹羽 啓文 中野 實 溝口 勝

藤沢 和 松川 進 島田 清 星川 和俊 豊田 裕道 佐久間泰一 石川 重雄 大橋 欣治 斉藤 正樹

京都支部

森井 俊広 広瀬 慎一 村島 和男 月岡 存 谷川 寅彦 田中 勉 八丁 信正 上田 隆茂 河野 俊正

小泉 勝 大島 洋介 石島 光男 阿武 隆弘 中田 峰示 片桐 俊二 松下 栄夫 南出 直志 泉 峰一

久田 吉治 松浦 猛 藤永 和生 田上 直美 中里 良一 吉野 学

中国四国支部

北村 義信 武田 育郎 村上 章 深田 三夫 森下 一男 松尾 芳雄 伴 道一 水見 洋 圓山 満久

土屋健太郎 坂根 勇 竹下 正泰 竹本 良市 下垣 雅史 寺岡 清澄 塩屋 俊一 鈴木登美雄 塩崎 和男

西内 靖

九州支部

関岡 英明 安部 哲司 川副 操 大田 武志 花谷 良助 廣瀬 修二 山下 博 高田 治 上原 恒弘

森 健 秋吉 康弘 初井 和朗 小宮 康明

平成 18 年度農業土木学会賞候補の推薦について（再）

平成 18 年度の農業土木学会賞（上野賞を除く）を、第 73 巻 6 号、p 80 の募集要項に則って、推薦書によりご推薦下さい。
締切りは、平成 17 年 10 月末日となっております。推薦書様式は学会 HP をご参照下さい。

平成 18 年日本農学賞候補の推挙について（再）

平成 18 年度日本農学賞の候補を下記によりご推挙いただきたいと存じます。適当と認められる候補がありましたら下記規程により、平成 17 年 9 月 15 日までにご推薦下さいますよう、お願い申し上げます。

記

日本農学賞候補推挙取扱規程（昭和 30 年 10 月 21 日制定
昭和 34 年 11 月 4 日改正
昭和 39 年 12 月 8 日改正
昭和 44 年 5 月 26 日改正
昭和 58 年 4 月 25 日改正）

第 1 条 この規程により、本会会員で次の条に該当する業績をあげたものに対し、日本農学賞候補に推挙する取扱いを行う。

第 2 条 推挙する業績は、発表された論文または著書とし、本学会を代表する業績として、十分その価値が評価されるものとする。

第 3 条 推薦者（正会員）は、毎年 9 月 15 日までに、次の事項を記し、会長に推薦する。

ただし、必要ある場合は推薦者に関係資料の提出を求めることができる。

（イ）候補業績（論文、著書名）

（ロ）候補者氏名（ふりがな）

（ハ）候補者所属、職名、学位

（ニ）候補者連絡先

第 4 条 推挙の決定は、理事会が行う。

「学会の名称について」シンポジウムの開催について 学会名称検討委員会

農業土木技術者継続教育プログラム認定申請中



当学会名称については、昨年7月農業土木学会名称検討委員会を設置し、検討を進めてきました。

昨年のシンポジウムは、参加者に委員会設立の背景を説明し、意見を伺い、名称を考える議論のスタートとしました。今回のシンポジウムは、具体的に新たな学会の名称候補案を示し、広く意見を戴く場として開催いたします。

平成17年度大会講演会第1日目、下記のとおり開催致しますので、奮ってご参加下さい。

日時 平成17年8月23日(火) 13:15~14:45

場所 岐阜大学図書館小講堂

司会 九州大学大学院農学研究院 平松和昭

(農業土木学会名称検討委員会幹事)

プログラム

13:15~13:25 開会挨拶

東京大学大学院農学生命科学研究科教授 田中忠次

(農業土木学会 会長)

13:25~13:45 基調報告

京都大学大学院農学研究科教授 三野 徹

(農業土木学会名称検討委員会委員長)

13:45~14:45 意見交換

進行: 田中 忠次

委員代表: 三野 徹

独立行政法人農業工学研究所理事長 宮本 幸一

(農業土木学会名称検討委員会副委員長)

財団法人日本農業土木総合研究所専務理事 大串 和紀

(" 委員)

全国土地改良事業団体連合会専務理事 佐藤 準

(" 委員)

人間文化研究機構総合地球環境学研究所教授 渡辺 紹裕

(" 委員)

第29回水の週間「ウォーターフェア05 東京」農業用水の展示出展について(再)

農業用水展示実行委員会

国土交通省、東京都、水の週間実行委員会主催文部科学省、農林水産省等後援で『ウォーターフェア05 東京』は、例年同様「水の週間」の一つのイベントとして行われます。今年も「水の展示会」に農業用水部門として、農業土木関係諸団体の協力を得て、農業土木学会が農業用水展示実行委員会を組織し、昨年度までと同様に展示の準備を進め出展することとなりました。

出展準備は、関東農政局利根川水系土地改良調査管理事務所が

鋭意行っております。

多くの方の来場をお待ちしております。

展示テーマ 「おどろきがいっぱい・見沼代用水」

展示の場所 科学技術館(千代田区北の丸公園2-1)

期 日 平成17年7月28日~8月2日

平成17年度農学系 JABEE 審査員養成研修会への参加のお願い(第2報) 技術者教育認定に関する検討委員会

農業土木技術者継続教育プログラム認定申請中



JABEE に対する農学関係者の一層の理解と JABEE プログラム修了者を受け入れる側の理解と協力を得るため、本年も農学関係学協会が共同で研修会を開催いたします。多くの皆様の参加を期待しております。奮ってご参加ください。

なお、本研修会は JABEE 公認で、研修会の参加修了者は JABEE 審査員候補者として登録され、本審査のオブザーバー参加を経て審査員の資格が得られます。

日時 2005年8月6日(土)、7日(日)

場所 東京大学弥生講堂

主催 (社)農業土木学会、(社)農学会、森林・自然環境技術者教育会、(社)日本生物工学会

参加費 5,000円(当日、現金で支払い)

懇親会費 2,000円(当日、現金で支払い)

申込み方法 学会ホームページに掲載されている申込書および審査員登録票に必要事項を記入し、E-mail で申込(農業土木学会ホームページ <http://www.jsidre.or.jp>)

申込み先：農業土木学会事務局 吉本・花塚 宛 hanatsuka@
jsidre.or.jp

14：30～15：50 審査経験者による報告
内田一徳 農業工学

申込み締切：2005年7月22日（金）

窪田順平 森林

プログラム：

16：00～17：00 プログラム審査および認定方法

2005年8月6日（土）

黒倉 寿 農学一般

9：00～ 受付開始

17：00～18：00 質疑応答

10：00～10：10 開会の挨拶

18：00～ 意見交換（懇親会）

田中忠次（社）農業土木学会会長

2005年8月7日（日）

10：10～10：20 オリエンテーション

9：00～9：40 生物工学関連分野の特徴

渡部終五 農学一般

塩谷捨明 生物工学

10：20～10：50 JABEE プログラム認定制度の概要

9：40～10：20 社会的な背景 久下善生 技術士会

下村彰男 農学一般

10：20～11：00 外国の事例 落合芳博 農学一般

10：50～12：10 JABEE プログラムの認定基準

11：00～12：30 頃 総合的な質疑応答

後藤 章 農業工学

後藤 章，下村彰男，服部重昭，塩谷捨明

13：10～14：30 プログラム自己点検書と実地審査

農業土木学会論文集印刷用（完全版下）原稿作成について

農業土木学会論文集編集委員会

農業土木学会論文集では、平成10年4月1日以降受付の論文から、掲載適となった論文の最終原稿をA4版完全版下で提出いただくこととなっております。しかしながら、規定の書式に則って作成されていない原稿がまだまだ多く寄せられております。これらにつきましては、これまで事務局から修正のお願いをし、印刷して参りましたが、昨今、印刷の質が非常に悪いというご意見が多数事務局に寄せられております。

論文集編集委員会では、平成10年からすでに7年を経ており、現在はもう過渡期でないとの判断から、下記のように対応させていただきますこととなりました。

投稿者の皆様のご理解とご協力をいただきますよう、よろしく

お願いいたします。

記

1. 論文集の品質の向上を図るため、掲載適となった論文の最終A4版完全版下原稿が、投稿の手引き（学会ホームページに掲載）に則って作成されていない場合は、再提出をお願いします。
2. 再提出されない場合には、掲載を見合わせることもありますので、ご注意ください。
3. 完全版下原稿を作成されることが困難で、かつ身近に版下作成業務を請け負う業者がない場合には、学会事務局から業者を紹介いたします。

投稿原稿の閲読状況が確認できます！

農業土木学会論文集編集委員会

農業土木学会論文集に投稿中の原稿の閲読状況がホームページで確認できるようになりました。

以下の手順で検索して下さい。

学会ホームページ（<http://www.jsidre.or.jp>）を開く。

「論文集」を選択。

「日本語」または「英語」を選択。

日本語の場合は「閲読状況一覧」、英語の場合は「List of pa-

pers under reviewing」を選択。

投稿した年度を選択（受領ハガキに表示されている受付番号の上2桁が年度を表しています。例：「04101」の場合は、「2004年度」を選択）

PDFファイルの「閲読状況一覧表」（受付番号、閲読回数、閲読依頼日、閲読返送日）が表示されますので、自分の受付番号から閲読状況を確認してください。

国際学会「国際水田・水環境工学会」入会のお願いと 国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」の配布について

農業土木学会では、2003年1月に日本、韓国、台湾を中心としたアジアモンスーン地域の農業土木関連学・協会および各国際機関等と連携して、新たな国際学会(国際水田・水環境工学会; International Society of Paddy and Water Environment Engineering: PAWEES)を設立、機関誌として国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」を創刊、2005年6月末にはVol 3 No 2が発刊予定です。

本ジャーナルは、モンスーンアジア諸国の水田農業工学に関する研究論文、技術論文が多数掲載されますので、研究者のみならず、各種事業に携わる技術者にとっても貴重な学術情報誌です。たくさんの方々が国際学会へ入会されることを望みます。

掲載論文の分野は、次のように幅広い内容となっています。

- ① 灌漑(水配分管理, 水収支, 灌漑施設, 栽培管理)
- ② 排水(排水管理, 排水施設)
- ③ 土壌保全(土壌改良, 土壌物理)
- ④ 水資源保全(水源開発, 水文)
- ⑤ 水田の多面的機能(洪水調節, 地下水涵養など)
- ⑥ 生態系の保全(水生, 陸生動植物の生態系)
- ⑦ 地域計画(農村計画, 土地利用計画など)
- ⑧ バイオ環境システム(水田農業と水環境, 土壌環境, 気象環境)
- ⑨ 水田の多目的利用(田畑転換, 施設園芸)

⑩ 農業政策(農村振興, 条件不利地の支援策など)

水田農業を通じた国際的な研究交流, 情報交換の場として、皆様の国際学会への入会をお勧めします。

国際学会に入会されますと、会員には国際ジャーナルが、無料で配布されます。

出版社: Springer-Verlag 社(ドイツ)

発刊スケジュール: 2003年3月創刊, 以後3カ月ごと

国際学会会費: 正会員 12,000円/年/4冊(送料等学会負担)

学生会員(院生含む) 8,500円/年/4冊(送料等学会負担)

申込先: 農業土木学会編集出版部 吉武宛

ホームページ: <http://www.jsidre.or.jp>

入会のお申込みは、学会 HR (<http://www.jsidre.or.jp/publ/ij/scope.htm>) の「5. APPLICATION FORM FOR THE REGULAR MEMBER」にご記入のうえ、メールまたは FAX でお申込みいただけます。

農業土木学会は、300人の国際学会員を募る義務を負っておりますが、現在会員数は278名(6月現在)と微増はしておりますが、いまだ目標会員数には達していません。そのため、編集業務を含め赤字体質となっております。この窮状をお察しいただき、多くの新規入会のお申込をお願いします。

国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」への投稿の勧め

農業土木学会では、2003年1月に日本、韓国、台湾を中心としたアジアモンスーン地域の農業土木関連学・協会および各国際機関等と連携して、新たな国際学会(国際水田・水環境工学会; International Society of Paddy and Water Environment Engineering)を設立し、機関誌として国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」を創刊、2005年6月末にはVol 3 No 2が発刊予定です。

我が国においても学術誌の評価に、SCI(Science Citation Index)のIF(Impact Factor)が利用されており、本国際ジャーナルでもIFの取得により高い評価の定着を目指しています。

また、世界13カ国からEditor(13名)を選出することにより、国際ジャーナルとしての質を高める編集体制とし、さらに国際的な流通を考慮して、国際出版社として著名なSpringer Verlag社からの刊行です。

掲載論文は、Review, Article, Technical ReportおよびShort Communicationの4種類です。

投稿から掲載までの時間を短縮するとともに、SCI獲得のために年4回の発行としております。投稿者は国際学会員に限りませんが、**投稿料、掲載料などを無料**として投稿者の負担を軽くするように配慮されています。

皆様方の多数の投稿を期待しております。

編集方針: 水田農業における土地と水と環境に関する科学と技術の発展への貢献を目的としている。

その分野は、水田農業地帯における灌漑と排水, 土壌保全, 土地資源や水資源の保全と管理, 水田の多面的機能, 農業政策, 地域計画, バイオ環境システム, 生態系の保全, 水田保全, 田畑輪換等である。

編集体制:

- Editor in Chief: Dr. Yohei Sato (Japan)
- Editors および Editing Board には世界各国から**斯界の権威が就任しています。**
- Managing Editors: Dr. Yoshisuke NAKANO (Japan), Dr.

Nobumasa HATCHO (Japan), Dr. Yoshito YUYAMA (Japan), Dr. Ke Sheng CHENG (Taiwan), Dr. Chun Gyeong YOON (Korea)

年6月までに、Editorialを除いて114本の投稿がありました。その国別内訳は、下記のようになっており、多くの国で認知されつつあることを、ご報告いたします。

出版社：Springer Verlag社（ドイツ）

国別投稿内訳：日本77、韓国17、台湾3、イタリア2、インドネシア2、フィリピン1、パキスタン1、メキシコ1、マレーシア1、スリランカ1、ナイジェリア1、中国2、ブルガリア2、スペイン2、タイ1

投稿資格：筆者全員が国際学会員であること。

投稿先：農業土木学会気付・中野芳輔宛で受付。

投稿要領等：http://www.jsidre.or.jpに詳細を記載しています。

PWE原稿投稿状況報告：2003年1月のPAWEES設立から2005

農業土木学会誌への投稿お待ちしております！小特集以外の投稿も歓迎します

農業土木学会誌編集委員会

74巻の小特集テーマのお知らせと報文原稿の募集

小特集のテーマに沿った原稿を、次表に従って広く会員から募集いたします。小特集以外の自主投稿も歓迎します。

また、今後取上げてほしい小特集のテーマについても、広く募集いたします。なお、小特集のテーマは仮題となっておりますので、予告なく変更することがございます。特集の趣旨をお読みいただいた後、公募原稿要旨を学会誌編集委員会あてにお送りください。

採用された原稿の分量は、刷上り4ページとなっておりますので、ご執筆の際には厳守いただきますよう、お願いいたします。

送付先 〒105 0004 東京都港区新橋5-34-4 (社)農業土木学会 学会誌編集委員会あて

☎03 3436 3418 FAX 03 3435 8494 E-mail henshu@jsidre.or.jp

学会誌第74巻3号～第74巻8号までの小特集のテーマ（予定）

小 特 集 の テ ー マ	要旨締切（必着） （A4判用紙,1,500字以内）	原稿締切 （刷上り4ページ厳守）
74巻 3号 地域の保全と農業土木（仮）	平成17年9月9日	平成17年10月15日
4号 美しい里づくり 景観法施行を背景として	〃 9月22日	〃 11月15日
5号 農業土木の国際化のあゆみ（仮）	〃 10月25日	〃 12月15日
6号 大会関連 関東支部（仮）	公募なし	
7号 湿地・湿原関連	平成17年12月22日	平成18年2月15日
8号	公募なし	

74巻3号テーマ：「地域の保全と農業土木」(仮)

特集の趣旨については、8月号に掲載予定です。お急ぎの場合は、学会ホームページ（http://www.jsidre.or.jp）に7月10日頃掲載いたしますので、参照下さい。

「オフィス便り」・「キャンパス便り」・「私の勤める本」の原稿を募集しています！

学会誌には、会員の職場や学校を紹介するコーナーとして、「オフィス便り」・「キャンパス便り」・「私の勤める本」を設け、随時募集しております。多くの会員が身近な情報を提供することにより、学会誌を親しみやすいものにするとともに、気軽に投稿できるコーナーとして活用していただきたいと考えております。

内容は、学会誌としての特徴を持ちつつ、他の機関誌とは違ったもので、できるだけ学会に関係のある内容、たとえば、

オフィス便りは、「事業実施において特色ある技術の導入」・「技術的に工夫した点」や「地域の魅力」、「技術者継続教育」・「技術力の向上」・「技術者倫理」など。

キャンパス便りは、「研究室の研究内容」・「学科紹介」など。

上記の内容を中心に、より広く事業や地域、また大学や研究室の紹介、その他の取り組み状況を含めて、職場、学校として特徴のあるものを募集しています。奮ってご投稿ください。

原稿の長さは、刷り上がり1ページ（1,800字程度）で、写真を1～2枚程度入れてください。

「私の勤める本」は、原稿の長さ：1,200字（写真・体裁等含む）

刷り上がり1ページ以内（原稿には表紙の写真を含めて下さい。）

学会誌掲載待ち自主投稿原稿の掲載について

学会誌編集委員会

学会誌編集委員会では、受理された自主投稿原稿につきましては、できるだけ受理順に掲載するべく努力いたしておりますが、平成17年5月末時点で、掲載をお待ちいただいている原稿は23本あります。執筆者の方々には、大変ご迷惑をお掛けしていること、深くお詫びいたします。

しかしながら、昨今の財政事情から、学会誌1号分ページ数を縮減せざるを得ず、受理したにもかかわらず、直近の号に掲載することが出来ない状況となっております。

編集委員会では、このような状況を勘案し、当初企画を変更して、自主投稿原稿号を設けることといたしました。

掲載待ちの執筆者には大変ご迷惑をおかけしておりますが、もうしばらくお待ち下さいますようお願いいたします。

なお、ご投稿いただきました原稿の中には、論文集の研究報文に適したのもあると思われます。論文集は受理後、直近の号に掲載することとなっておりますので、今後、論文集へのご投稿もご考慮いただきますよう、よろしくをお願いいたします。

あなたの写真で学会誌の表紙を飾ってみませんか

—平成18年「農業土木学会誌」表紙写真の募集—

農業土木学会誌編集委員会

学会誌編集委員会では、平成18年も皆さまからの写真で表紙を飾ることといたしました。つきましては、下記の要領で学会誌第74巻(平成18年1~12月号)の表紙写真を募集しますので、ふるってご応募下さい。

本年もテーマを「水利遺構：先人たちの技術と苦労が垣間見える造形美」として、公募いたします。下記の趣旨をご理解のうえ、多数の応募をお待ちしております。

なお、単写真だけでなく、組写真による応募も受付けております。組写真では、3~4枚の写真を組合わせて、ストーリー性を持たせた写真にして下さい。

記

1. **趣旨** これまで農業土木技術による構造物は、過酷な自然の猛威にさらされながらも、農業経営、防災などの面で人びとの生活を支えてきました。

特に人力に頼るしかない時代に施工されたものをはじめとする用水路、頭首工、堰堤などの水利施設は、わが国の気象条件や複雑な水利用を考えると、構造物の設計や施工に高度な工夫と多くの労力が必要であったことが容易に想像されます。

それら多くの構築物の中には、かけがえのない風景を生み出す文化遺産ともいふべき名高いものもありますが、私たちが身近で目にする農村地域にも、規模は小さくとも凛として美しい文化的な技術遺構がいくつも存在しています。

皆さんの目にとまった構造物で先人たちの技術と苦労が垣間見える造形美を学会誌の表紙写真でご紹介ください。

例年の応募状況から、秋季および冬季の写真についても多数の応募をいただけますよう、お願いいたします。

2. **写真の種類** 単写真、組写真いずれもカラープリントで(デジタルの場合は高画質で、ほぼ400万画素以上を目安に)、サイズは六ッ切。組写真の場合は、そのことを明記して下さい。
3. **枚数** 応募点数には制限がありませんが、未発表のものに限ります。
4. **締切** 平成17年9月30日(必着)
5. **審査** 審査委員会(編集委員と写真家)で12点を選びます。
6. **結果発表** 学会誌74巻第1号で入賞者と掲載号を発表し、入選作品は、平成18年度大会会場でパネル展示します。
7. **賞品** 入選作品1点につき3万円(表紙掲載料含む)。応募者には記念品をお贈りします。
8. **応募資格** 学会員でなくとも結構ですので、周囲の方々にもお勧め下さい。
9. **その他** 応募写真の裏面にタイトル、郵便番号、住所、氏名、年齢、職業、電話番号、性別、写真のテーマ、撮影場所、撮影月日、撮影データ(フィルム、使用カメラ)を記入して下さい。また、対象物の名称(固有名詞)、対象物をめぐる歴史的背景等の説明(いつ、だれが、どうして等)もお寄せ下さい。
原則として、応募写真は返却いたしません。なお、入選作の著作権は、(社)農業土木学会に属します。
10. **宛先** 〒105 0004 東京都港区新橋5-34-4 (社)農業土木学会 農業土木学会誌編集委員会 「表紙写真公募」係

第 54 回北海道支部研究発表会の開催について（第 1 報）

農業土木技術者継続教育プログラム認定申請中



1. 期 日 平成 17 年 9 月 29 日（木）
 2. 会 場 札幌市・北海道大学クラーク会館
 （札幌市北区北 8 条西 8 丁目）

所属機関 _____
 同上所在地 _____
 申込代表者 _____ TEL _____

3. 研究発表申込み

発表を希望する方は原稿投稿に先立ち、発表表題・発表者名と、発表形式の希望（口頭またはポスター）を、メール、FAX または郵送にてお申込下さい。

発表申込みの締切は、平成 17 年 8 月 1 日（月）です。

発表申込者には折り返し講演集原稿作成要領をお送りします。

講演集原稿の締切は、平成 17 年 9 月 1 日（木）です。

4. 参加申込み

下記様式により、メール、FAX または郵送にてお申込下さい。

参加申込みの締切は、平成 17 年 9 月 20 日（火）です。

氏 名	所 属	備 考

5. 発表・参加申込先

〒060 - 8589 北海道大学農学部農業工学科内
 農業土木学会北海道支部事務局
 担当：柏木淳一 E-mail:kashi@env.agr.hokudai.ac.jp
 ☎011 706 3641 FAX 011 706 4145

6. 参加費用

研究発表会講演集代 2,000 円（当日会場にて申し受けます。）

**平成 17 年度東北支部総会・第 49 回研究発表会
 並びに第 39 回支部研修会・第 29 回地方講習会について（第 1 報）**

農業土木技術者継続教育プログラム認定申請中



1. 期 日 平成 17 年 11 月 8 日（火）9 日（水）
 2. 会 場 ホテルメトロポリタン盛岡 NEW WING
 〒020 0033 岩手県盛岡市駅前北通 2 27
 ☎019 625 1211

(1) 講演申込み/問合せ先
 講演要旨集原稿に投稿票を添えて、下記へお申込み下さい。
 〒020 8550 岩手県盛岡市上田 3 丁目 18 8
 岩手大学農学部 颯田尚哉（さつたなおや）
 ☎019 621 6191, FAX 019 621 6269
 E-mail satta@iwate-u.ac.jp

3. 内 容

午前 午後

11 月 8 日（火）支部総会、授賞式、研究発表会、情報交換会

11 月 9 日（水） 支部研修会、 地方講習会

4. 講演の申込みと参加費について

今年度の大会全般を岩手県が担当しますが、研究発表会のプログラム編集のみ岩手大学が担当します。そこで、『研究発表会の講演申込み』と『参加申込み・参加費納入先』が、それぞれ下記のように異なりますので注意して下さい。

(2) 要 領
 要旨集原稿・投稿票の書き方については、農業土木学会ホームページ（<http://www.jsidre.or.jp>）を参照して下さい。

(3) 講演申込み受付期間
 平成 17 年 8 月 15 日～9 月 9 日【締切厳守】

A. 研究発表会の講演申込み方法

B. 研究発表会等参加申込みと参加費納入先 / 問合せ先について
 参加申込みと参加費納入先は、本誌 73 巻 8 号掲載予定の「第 2 報」を参照して下さい。

第 62 回京都支部研究発表会の開催について（第 2 報）

農業土木技術者継続教育プログラム認定申請中



1. 研究発表会

- (1) 日 時 平成 17 年 10 月 27 日（木）
 9：30～17：00（受付開始 9：00～）
 (2) 会 場 （開会式～講演会～分科会）
 石川県地場産業振興センター ☎076 268 2010
 石川県金沢市 鞍月 2 丁目 1 番地
 (3) 会場までのアクセス
 ・JR 金沢駅西口から北鉄バス「工業試験場」行きまたは「消費生活支援センター」行き「工業試験場」下車 約 20 分

・JR 金沢駅西口からタクシー約 10 分

2. 情報交換会

- (1) 日 時 平成 17 年 10 月 27 日（木）18：00～20：00
 (2) 会 場 金沢都ホテル
 石川県金沢市 JR 金沢駅東口正面
 ☎076 261 2111

3. 現地研修会

- (1) 日 時 平成 17 年 10 月 28 日（金） 3 コース設定
 ・加賀コース 集合 9：00 金沢駅、解散 16：00 加賀温泉

駅, 16:15 小松空港, 17:00 金沢駅

- ・金沢コース 集合 9:00 金沢駅, 解散 16:00 金沢駅
- ・能登コース 集合 9:00 金沢駅, 解散 17:00 金沢駅

(2) 内容

- ・加賀コース 加賀の農村整備と義経記探訪: センター用水大木門, ビール工場, 安宅の関
- ・金沢コース 加賀百万石の礎を築いた農業用水と城下町散策: 辰巳用水, 兼六園, 鞍月用水
- ・能登コース 能登の農村整備と地域おこし: 経営体育成基盤整備事業「末吉地区」, 志賀原子力発電所

4. 投稿の申込等

(1) 原稿投稿先および期限

研究発表申込をされた方は, 講演要旨原稿に投稿票を添えて, 平成 17 年 7 月末日までにお送りください。

〒606 8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学大学院農学研究科地域環境科学専攻 小林 晃あて
☎075 753 6152 FAX 075 753 6346

(3) 投稿要領

- ・発表者は, 農業土木学会会員とします。
- ・投稿要領および原稿の書き方については, 農業土木学会ホームページ (<http://www.jsidre.or.jp>) の「支部講演会投稿要領」を参照してください。枚数は図面を含めて 2 枚とします。発表時間は 12 分 (質疑応答は 3 分) です。原稿はそのまま印刷しますので鮮明なものを提出してください。発表の補助道具として OHP, パソコン (OS はウィンドウズ, ソフトはパワーポイント 2000) およびビデオプロジェクターを準備します。データはできる限り CD-R でご用意ください。投稿票も必ず原稿に添えて送付して下さい。

5. 参加申込方法

(1) 参加申込

参加申込は別記申込書により「7. 申込・振込先」まで郵送または FAX でお申し込みください。

(2) 申込期限 平成 17 年 8 月 31 日 (水)

- (3) 参加費等 研究発表会 4,500 円
- 情報交換会 5,000 円

現地研修会 6,000 円 (昼食代含む)

(ア) 昼食: 会場付近にレストラン等がありますが, 混雑が予想されます。弁当を 1,000 円/個で受け付けていますのでご利用ください。

(イ) 参加費の納入: 申込を受付けた後, JTB サポート中部より 9 月下旬以降に確認書・請求書を送付いたしますので, 内

容を確認のうえ, 参加費を「7. 申込・振込先」へ 10 月 14 日までにお振込みください。振込手数料については振込人負担をお願いします。

なお, 納入された参加費については, 参加の有無にかかわらず返金いたしませんのでご了承ください。

6. 宿泊施設の斡旋

宿泊の斡旋を JTB を通じて行います。ご希望の方は, <http://www.agrifacility.kais.kyoto-u.ac.jp/staff/kobayashi/index.html> または, <http://www.pref.ishikawa.jp/nouchi/index.htm> の京都支部発表会申込書をダウンロードの上, 宿泊斡旋施設一覧表の中から施設をお選びいただき申込書により「7. 申込・振込先」へお申込みください。なお, ベット数の都合上希望に添えない場合がございますのでご了承ください。

(1) 宿泊申込期限 平成 17 年 8 月 31 日 (水)

(2) 代金の納入 受付締切り後, JTB より宿泊予約確認書・支払い明細を送付いたしますので, 内容を確認後, 10 月 14 日までにお振込ください。

(3) 取消料 申込後の取消 (又は変更) の際には, 必ず書面 (FAX 等) にて「7. 申込・振込先」までご連絡ください。なお, 取消日により規定の取消料を申受けます。

7. 申込・振込先

(1) 申込先

JTB サポート中部 担当: 武部

〒920 0852 石川県金沢市此花町 6 10

☎076 260 5050 FAX 076 224 3447

営業時間 (月~金) 10:00~17:30/土・日・祝日は休業日

(2) 振込先

UFJ 銀行 振込集中錦支店 普通口座 5598364

口座名 ㈱ジェイティービー金沢支店

(3) 問い合わせ先

JTB 金沢支店 担当: 本田

〒920 0917 石川県金沢市下堤町 30

☎076 264 7077 FAX 076 262 6156

営業時間 (月~金) 9:15~17:45/土・日・祝日は休業日

8. 問い合わせ先

石川県農林水産部農地企画課内

第 62 回農業土木学会京都支部研究発表会運営委員会事務局

担当 山下, 石垣, 河田

☎076 225 1632 (直通) FAX 076 225 1634

E-mail: s-kawada@pref.ishikawa.jp

「参加申込書」

第 62 回 農業土木学会京都支部研究発表会参加申込書

印は機関でお申し込みの場合のみ記入してください

申込機関名				連絡担当者								
連絡先住所	(〒 -)											
電話	(内線)						FAX					
(フリガナ) 参加希望者	所属	性別	年齢	10/27 研究発表会 4,500円	10/27 昼食 1,000円	10/27 情報交換会 5,000円	10/28 現地研修会 6,000円		希望宿泊 施設	宿泊希望日 26日 (水) 27日 (木)		備考
(イシカワハナコ) 例)石川花子	学科	女	22				第1希望 第2希望 第3希望	加賀 能登 金沢	第1希望 第2希望 第3希望	D B	D B	
請求書等の書き方について (宛名の希望がありましたら下記に記入願います) 宛名: その他: (ご指示がありましたら詳細を記入ください。)												

第 60 回中国四国支部講演会の開催について (第 2 報)

農業土木技術者継続教育プログラム認定申請中



平成 17 年度農業土木学会中国四国支部講演会を 10 月 19 日 (水), 20 日 (木) の 2 日間にわたり, 開催いたします。本講演会の講演申込みについては下記のとおりです。多数の講演申込みをお待ちしております。

・日 程 平成 17 年 10 月 19 日 (水) ~ 10 月 20 日 (木)

1. 講演会

(1) 日 時: 平成 17 年 10 月 19 日 (水)

(2) 会 場: 香川県民ホール

〒760 0030 香川県高松市玉藻町 9 番 10 号

☎087 823 3131 FAX 087 823 3124

8:30 ~ 受付開始
9:00 ~ 9:15 開会式
9:15 ~ 9:30 支部表彰式
9:40 ~ 10:45 特別講演
11:00 ~ 17:00 一般講演
第一会場 アクトホール
第二会場 多目的大会議室
第三会場 大会議室

17:00 ~ 17:15 閉会式

2. 情報交換会

(1) 日 時: 平成 17 年 10 月 19 日 (水)

(2) 会 場: 香川県民ホール多目的大会議室

3. 現地研修会

(1) 日 時: 平成 17 年 10 月 20 日 (木)

(2) コース: 中央公園苑 香川用水記念公園【現地研修】 水資源機構香川用水施設緊急改築事業香川用水調整池【現地研修】 昼食 (琴平) 県営農村振興総合整備事業ぜんつうじ地区【現地研修】 国営総合農地防災事業香川地区【現地研修】 JR 高

松駅着

行き先については変更することがあります。

・講演申込

1. 投稿・講演要領

(1) 講演原稿: 投稿原稿は, 図, 表, 写真などを含め 1 課題 3 ページ以内とします。市販の A4 版上質紙 (コピー用紙などをご利用下さい。感熱紙は不可) に印字したモノクロ原稿で申込んでいただきます。このため, 専用の原稿用紙は用意いたしません。

投稿者は, 農業土木学会ホームページ <http://www.jsidre.or.jp> の支部講演会投稿要領に従って原稿を作成し, 必要なフロッピーディスク等を添えて, 支部事務局 (下記 8) の愛媛大学, 藤原宛) へお申込下さい。なお, 発表時間や発表方法などについては事務局から連絡をする場合があります。発表者 (印) の方は必ず連絡先メールアドレスをお書き下さい。

(2) 講演資格: 発表者のうち, 少なくとも 1 名が学会員であることが必要です。

(3) 講演方法: 個人発表とし, 講演補助として液晶プロジェクタ, OHP およびスライドを準備します。

(4) 講演時間: 1 課題につき 12 分程度です。

(5) 講演要旨集: 申込みのあったすべての原稿を講演要旨集に収録します。

(6) 参加申込: 講演者は, 講演申込とは別途に参加申込み (下記, 香川県宛) も行い, 必ず参加費を納入して下さい。

(7) 原稿の締切: 平成 17 年 8 月 26 日 (金) 必着。(遅延は不可)

(8) 講演申込みおよび問合せ先: 農業土木学会中国四国支部事務局 藤原正幸

〒790 8566 松山市樽味3 5 7
 愛媛大学農学部地域環境工学コ - ス
 ☎/FAX 089 - 946 - 9890
 E-mail fujihara@agr.ehime-u.ac.jp

2. 研鑽賞選考調査票について

当支部では、支部講演会において積極的に成果を発表した会員（大学・国立研究機関（独立行政法人近畿中国四国農業センターを含む）所属の会員を除く）を顕彰するため研鑽賞を設けております。この賞は、同一の口頭発表者が3年以上にわたって通算3回の発表を行った場合に授与されるもので、以前に受賞した人も受賞後の発表が通算3回に達すれば再度授与されます。

選考調査票は、この発表回数をカウントするための資料としますので、口頭発表者の今回を除く最新の講演（前受賞者は受賞対象以降のもの）2件の題目とその年度を下記様式によりお知らせ下さい。

支部賞（研鑽賞）選考調査票

口頭発表者氏名： _____
 所 属： _____
 学会加入年度： _____
 会 員 番 号： _____

No.	年度	講演題目

・参加申込

(1) 申込書：所定の申込様式により所属機関ごとに取りまとめ、講演会事務局までお申込み下さい。

【申込様式】

平成 17 年度農業土木学会中国四国支部講演会参加申込書

所属機関 _____
 所在地（〒 _____） _____
 連絡者氏名 _____
 TEL： _____ FAX： _____
 MAIL： _____

ふりがな 所 属	ふりがな 氏 名	講演 希望	【19日】 講演会 参加費 (3,000円)	【19日】 昼食代 (1,000円)	【19日】 情報 交換会 (6,000円)	【20日】 現地 研修会 (6,000円)	合計 (円)
計	人	人	人	人	人	人	円

注1)出席および必要な場合は 印、欠席および不要の場合は×印をご記入下さい。

2)講演者は、講演希望欄に必ず 印をご記入下さい。

3)19日の講演会の昼食は、当日業者から配布します。（ただし、予約者のみ）

(2)申込締切日：平成 17 年 8 月 26 日（金）

(3)参加費等：講演会 3,000円

講演会を含め 講演会に参加される方は必ずお支払い下さい。

昼食代 1,000円

情報交換会 6,000円

現地研修会 6,000円（昼食代を含む）

(4)参加費の納入方法

参加申込と同時に次の銀行口座に全額前納をお願いします。

申込後の取消、変更については、8月26日（金）以前のお申出に限り返金いたします。なお、払込手数料については、振込人負担をお願いします。

【振込口座】

銀行名 百十四銀行 県庁支店

口座番号 普通 0962860

名義人 農業土木学会中国四国支部講演会 実行委員長 鈴木登美雄

(5)参加申込みおよび問合せ先

香川県農政水産部土地改良課計画調査・指導グループ

井川, 好井

〒760 8570 香川県高松市番町4丁目1番10号

☎087 832 3437（直通） 087 831 1111（代表）

FAX 087 837 7161, E-mail:wj 8540@pref.kagawa.lg.jp

(6)宿泊案内

講演会事務局では宿泊の斡旋・手配はいたしません。

平成 17 年度九州支部講演会（第 86 回）・シンポジウム開催について（第 1 報）

農業土木技術者継続教育プログラム認定申請中



1. 講演会

(1)日 時 平成 17 年 10 月 27 日（木） 9：30～17：30

(2)会 場 長崎ブリックホール

長崎市茂里町 2 38 ☎095 842 2002

2. シンポジウム

(1)日 時 平成 17 年 10 月 27 日（木） 15：30～17：30

(2)会 場 長崎ブリックホール（同 上）

(3)課 題 未 定

3. 現地見学会

(1)日 時 平成 17 年 10 月 28 日（金） 8：30～16：00

(2)コース

国営事業による諫早湾干拓での試験圃場～畑地帯総合整備

事業による山田原地区～島原市内（昼食）～火山体験学習施設

「雲仙岳災害記念館」～道の駅「みずなし本陣ふかえ」等を予定

4. 講演申込み

(1)申込み方法

講演希望者は、演題・氏名・勤務先・所属を明記のうえ、

「6 事務局」までお申し込み下さい。

(2)申込み締切日 平成 17 年 8 月 31 日（水）

(3) 投稿要領

図・表・写真等を含めて、1題につき2ページまたは4ページとし、3ページや5ページ以上の原稿、また投稿要領に従っていない原稿は受け付けません。

(4) 講演時間 12分程度(質問・交代時間を含む)

(5) 投稿締切り 平成17年9月9日(金)必着

(6) 投稿先 〒840 8502 佐賀市本庄町1 佐賀大学農学部

瀬口昌洋 宛

☎0952 28 8760 FAX 0952 28 8709

(7) 原稿の書き方

農業土木学会ホームページ (<http://www.jsidre.or.jp>) をご

覧下さい。

5. 参加申込み

農業土木学会誌8月号に掲載予定

6. 事務局

長崎県農林部農村整備課計画調整班

(農業土木学会九州支部講演会事務局)

場 所: 〒850 8570 長崎市江戸町2 13

担 当: 加藤 光一

E-mail: katou-kouichi 062@pref.nagasaki.lg.jp

☎095 824 1111 内線 2964 FAX 095 828 3154

第44回(平成17年度)畑地かんがい研究集会開催について

農業土木技術者継続教育プログラム認定申請中



このたび「九州の畑作と生産環境」をメインテーマとして、講演会並びに現地研修会を下記により開催することになりました。畑地の整備が緊急の課題となっている今日、畑地灌漑の意義と今後の方向について、自由な討論を通して確かめておくことは非常に重要だと思われま

す。つきましては各農政局、各都道府県、各市町村および各会社、団体におかれましては、この研究集会に多数参加されますようご案内申し上げます。

共催:(社)農業土木学会畑地整備研究部会・(社)畑地農業振興会
後援:大分県

1. 期日 平成17年9月1日(木)講演会

9月2日(金)現地研修会

2. 講演会

(1) 会場:別府ビーコンプラザ 3F「国際会議室」

〒874 0828 大分県別府市山の手町12 1

☎0997 26 7111

(2) 日時:9月1日(木)9:30~17:00

(3) 課題:「九州の畑作と生産環境」

1. 九州における畑地かんがいと営農

九州農政局農村計画部資源課長 松尾 義信

2. 最近の畑地かんがい資機材

資機材展示会社 5~6社

3. 九州沖縄農業研究センターにおける産学官連携の取組み

(独)農業・生物系特定産業技術研究機構九州沖縄農業研究センター所長 山川 理

4. 苦悩する営農の中での畑地かんがい施設の維持管理

前大分県安心院土地改良区事務局長 小川 友勝

5. 畜産廃棄物の資源化と流通

(独)農業・生物系特定産業技術研究機構九州沖縄農業研究センター畜産総合研究チーム長 薬師堂謙一

6. 営農の変遷と畑地かんがい施設の更新

大分県臼津間地方振興局耕地課技師 御領園 進

7. 総合討論

(後援の順序、講師は都合により変更されることがあります。)

(4) 会費 9,000円/人

3. 現地研修会

会費 8,000円/人

(1) 日時:9月2日(金)集合 8時20分

場所 別府駅西口バス乗り場

別府駅 8:30 9:10 大分農業文化公園 9:40 10:20 安心

院ぶどう有徳原団地 10:50 11:10 日出生ダム 11:40

12:10 昼食「かまくさ」12:50 13:00 宇佐神宮 13:40

14:20 田園空間整備事業(西高地区) 14:50 15:30 大分

空港 大分国際観光港 JR別府駅 17:00 JR大分駅

自由解散

4. 参加申込

(1) 講演会、現地研修会に参加希望の方は、下記様式により「FAX」または「郵便」で申し込んで下さい。

なお、申込み者(個人別)の所属先および農業土木技術者継続教育機構の会員の方は番号を備考欄に記入してください。

畑地かんがい研究集会参加申込書

(該当するところに 印をつけて下さい)

所 属							TEL
							FAX
申 込 代 表 者	(ふりがな)			住 宅 所			
(ふりがな) 氏 名	年 齢	性 別	講 演 会	現 地 研 修 会	振 込 日	備 考	
			出席 欠席	出席 欠席	予定月日		
(例) ぶくやまたろう 福山太郎	45	男			8/10	所属先 農地整備課 (CPD)会員番号 NO.123456	
						所属先 (CPD)会員番号	

(2) 申込み先 (社)畑地農業振興会

〒105 0012 東京都港区芝大門1 3 11

YSKビル6F

☎03 3438 2581 FAX 03 3438 2583

(3) 申込み期限 平成 17 年 7 月 29 日 (金)

なお、会場の都合により定員になり次第締切りますので、早めにお申込み下さい。

(4) 参加費用の払込み

上記「畑地かんがい研究会参加申込書」により申込みと同時に、講演会費および現地研修会費を下記へお振込み下さい。参加費を予め振り込めない場合は振込み予定月日を申込書(の欄)に記入して下さい。

なお、当日に会費を持参されることは、受付が混乱しますのでご遠慮願います。

講演会費および現地研修会費の振込みは下記にお願いいたします。

A. 郵便振替の場合 00120 4 95103 (社)畑地農業振興会

B. 銀行振込の場合 みずほ銀行 浜松町支店

普通口座 1180627 (社)畑地農業振興会

(5) 申込みの取消し、または変更が生じた場合の取扱いについて講演会費および現地研修会費の振込み後、都合により取消しまたは、変更される場合は、8月10日までご連絡いただいた場合に限り全額お返しいたします。

ただし、8月11日以降は、半額申受けます。

平成 17 年度農村計画研修会 (第 27 回現地研修集会) について (再) 農村計画研究部会

農業土木技術者継続教育プログラム認定申請中



1. 主催：農業土木学会農村計画研究部会

後援：福井県、水土里ネットふくい(福井県土地改良事業団体連合会)

協賛：農村計画学会

2. テーマ：豊かな農村資源を未来へ～地域が取り組むさまざまな保全のかたち～

3. 日程：平成 17 年 9 月 7 日 (水) 研修集会

8 日 (木) 現地検討会

4. 会場：福井県民会館大ホール(福井県福井市大手 3 丁目 11 17)

5. プログラム

(1) 研修集会 平成 17 年 9 月 7 日 (水) 9:30~17:00

8:45~9:30 受付

9:30~9:45 開会挨拶

9:45~10:50 基調講演「地域の豊かさとは何か」

福井県立大学学長(京都大学名誉教授) 祖田修

10:50~11:00 休憩

11:00~12:00 特別講演「農村力をデザインする」

池田町長 杉本博文

12:00~13:00 休憩

13:00~13:35 事例報告「かみなか農楽舎の歩みと活動報告」

(有)かみなか農楽舎代表取締役 馬場康一郎

13:35~14:10 事例報告「子供の夢を地域の宝に」

九頭竜川下流地区地域用水対策協議会事務局長 竹内紘一

14:10~14:45 事例報告「地域用水を活かした足羽の郷」

足羽川堰堤土地改良区連合専務理事 吉川 強

14:45~15:05 情勢報告

農林水産省農村振興局

15:05~15:20 休憩

15:20~16:50 パネルディスカッション

コーディネータ

石川県立大学教授(京都大学名誉教授) 高橋 強

パネリスト

池田町長 杉本博文

(有)かみなか農楽舎代表取締役 馬場康一郎

九頭竜川下流地区地域用水協議会事務局長 竹内紘一

足羽川堰堤土地改良区連合専務理事 吉川 強

農林水産省農村振興局

16:50~17:00 閉会挨拶

(2) 現地検討会 平成 17 年 9 月 8 日 (木) 8:30~15:30

8:30 福井駅東口 集合

8:45 福井駅東口 出発

研修の場所

「風格のあるほっとランド」今立郡池田町

「水と戯れ歴史を辿る一乗浪漫」福井市一乗地区(中山間地域総合整備事業一乗地区)

「人々の心をうるおす清流の郷」福井市横山地区(水環境整備事業横山地区)

15:30 福井駅東口 解散

6. 参加費用

研修集会参加費 一般 5,000 円 学生 2,500 円

現地検討会参加費 5,000 円(昼食代 1,000 円含む)

7. 参加申込

参加をご希望の方は参加申込書(部会 HP からダウンロードして下さい)に所要事項をもなく記入の上、FAX または郵送にてお申込み下さい。なお、原則として団体ごとにとまとめてお願いいたします。

申込み多数の場合は、定員 400 名に達し次第締切らせていただ

きますので、あらかじめご了承ください。

- (1) 申込期限 平成 17 年 7 月 22 日 (金)
- (2) 申込先 農村計画研修会現地運営事務局
〒910 8580 福井県大手三丁目 17 番 1 号
福井県農林水産部農村振興課
担当: 松田富美子 西出泰啓
☎0776 20 0454 FAX 0776 20 0656
- (3) 参加費の納入
申込みをいただきますと 8 月上旬に請求書をお送りしますので、請求書の指定口座に振込んで下さい。なお、振込み手数料は参加者負担をお願いします。
- (4) 申込の変更・取消
8 月 15 日 (月) までに現地運営事務局まで FAX にてお申

出下さい。それ以降の取消しについては、参加費の返還ができませんので、あらかじめご了承ください。

8. 宿泊施設

参加者各自でお申込み下さい。

9. その他

その他詳細は、部会のホームページ (<http://www.jsidre.or.jp/bukai/keikaku/2005fukui.htm>) をご覧ください。

【現地研修集会に対する問合せ先】

農村計画研修会現地運営事務局
〒910 8580 福井県大手三丁目 17 番 1 号
福井県農林水産部農村振興課
担当: 松田富美子 西出泰啓
☎0776 20 0454 FAX 0776 20 0656

農地保全研究部会第 26 回研究集会 (第 1 報)

農業土木技術者継続教育プログラム認定申請中



1. 開催日

- (1) 研究集会 平成 17 年 11 月 10 日 (木)
- (2) 現地見学会 平成 17 年 11 月 11 日 (金)

- 2. 場所 鹿児島市 鹿児島県土地改良会館 (県土地改良事業団体連合会)

3. 研究集会テーマ

棚田および下流域における農地と環境の保全
住民参加による保全を中心に
詳細は農業土木学会誌 8 月号に掲載予定

国際水田・水環境工学会 2005 年国際研究集会の開催について
テーマ: 持続可能な米生産システム確立における水田・水環境管理

PAWEES 2005 International Conference

On Management of Paddy and Water Environment for Sustainable Rice Production

農業土木技術者継続教育プログラム認定申請中



主催: PAWEES; International Society of Paddy and Water Environment Engineering (国際水田・水環境工学会)
共催: 日本学術振興会, 農業土木学会, 韓国農工学会, 農業工学研究所, IWMI, IRRI, CIGR, AAEE, 国際農林水産研究センター, ICID, 農業農村整備情報総合センター, FAO Japan, INWEPF

- 1. 日時: 2005 年 9 月 7 (水) ~ 8 日 (木)
- 2. 場所: 京都大学百周年時計台記念館国際交流ホール
- 3. テーマ: 持続可能な米生産システム確立における水田・水環境管理
- 4. 意義と目的

米は、世界の約半分の人口が主食としている穀物であり、波及する経済も考えた場合、地球で最も重要な作物のひとつといえます。特に米の主要な生産地であるアジアの食糧安定供給、貧困、さらに環境などの問題解決においては、水田農業の適切かつ持続的な維持管理の達成は重要な課題となっています。

2005 年 9 月に京都において開催される国際研究集会 [持続可能な米生産システム確立における水田・水環境管理] を主催する国

際水田・水環境工学会 (PAWEES) は 2003 年 1 月に設立されました。これは、第 3 回世界水フォーラムでも議論された水問題、なかでも非常に重要な役割を果たしている水田稲作農業を、流域レベルの資源・物質循環という観点から評価し直し、環境や人口扶養・貧困問題への効果といった統合的な視点を取り入れた新しい技術・学術体系として確立し、その国際化を図ることの重要性の認識に由来しています。学会は、設立以来世界各地の大学、研究機関、行政機関ならびに民間の研究者・技術者の協力を得て発展してきました。また、学会が発行している学術誌「水田・水環境 (PWE)」は発行以来多くの支持を集めています。

この研究集会は、内外の研究者のみならず各国の状況に精通した技術者や国際機関の職員を含めた、当分野において主導的役割を担っている者が一堂に会する機会となります。そこで、最新の研究成果の発表および情報交換を行うことにより国際的見識を深めるとともに、水田・水環境分野における今後の重点研究課題を抽出し、将来の国際的研究の方向性を議論します。さらに、過去の研究成果をいかに実社会に還元していくかの方法論を議論し、食料安全保障や発展途上国の貧困と飢餓の撲滅および農村の発展

に貢献していくための方策を探ることも視野にいれています。

さらに、研究集会において水田・水環境工学の研究分野を主導する立場の日本と海外の研究者・技術者との過去に築いてきた関係国・地域、関係研究機関等との連携強化が図られるとともに、その他の諸国との広汎な連携が推進されることも期待されています。

本事業は独立行政法人日本学術振興会(JSPS)の助成事業です。

なお、平成17年4月20日締切りの論文公募に対しては、各セッションごとに多数ご応募いただきました。実行委員会として感謝申し上げます。これらの論文はScience Committeeによって審査され、各セッションで各々8論文が採択されました。このプログラムをお知らせいたします。

5. 参加登録:

登録期間:平成17年1月1日~7月10日(7月10日以降の登録も定員に余裕がある場合のみ、研究集会当日に可能)

参加登録費:10,000円

講演要旨集は研究集会当日にお渡しします。

6. 問合せ先

松野 裕 (PAWEES 事務局長)

近畿大学農学部国際資源管理学科

〒631 8505 奈良市中町 3327 204

E-mail: matsuno@nara.kindai.ac.jp

吉武 幸子 (農業土木学会編集出版部長)

(社)農業土木学会事務局 E-mail: pawees2005@jsidre.or.jp

〒105 0004 東京都港区新橋 5 34 4 農業土木会館 3階 1号

プログラム (予定)

9月7日(水)

10:00~11:50 Plenary Session

Opening Address:

Dr. Yohei SATO (Chairperson of Organizing Com.)

Welcome Speech: 1. Dr. Yoneo ISHII (Adviser of PAWEES)

2. Dr. Soon-Kuk KWUN (President of PAWEES)

Keynote Speech:

1. Dr. Robert Zeigler, DG, IRRI

2. Dr. Frank RIJSBERMAN, DG, IWMI

Session 1 Multi-functionality

13:10~13:40 Keynote Speech: Mr. Kazumi YAMAOKA (NIRE)

13:40~14:00 Protocols for Estimating Magnitudes and Values of Paddy Rice Multiple Foundations: G. Levine et al(USA)

14:00~14:20 Multi-functionality of Paddy Rice Cultivation: Review and Future Prospects for Japan and other monsoon Asia: Y. Matsuno et al(Japan)

14:20~14:40 Multifunctionality and Non-trade Concerns: Implications for Future Agricultural Policies in Asia: R. N. Boisvert et al. (USA)

14:40~15:00 The External Benefits and Preference with Attributes of Farmland in Taiwan: C. K. Hsiao (Taiwan)

15:00~15:20 Coffee break

15:20~15:40 Assessment of Quantity and Monetary Values of Multi-functionality of Paddy Fields in Taiwan: C. H. Tan et al(Taiwan)

15:40~16:00 Assessment of Flood Prevention Function of Paddies in Low-lying Areas by a 2D-FEM Model: P. T. Hai et al(Japan)

16:00~16:20 Long-term Evaluation of Groundwater Recharge from Paddy Field with Urbanization in the Nhobi Planes: M. Imai-zumi et al(Japan)

16:20~16:40 Regional Water and Heat Balance in Sedatani Paddy Field Cidanau Watershed: S. K. Saptomo et al(Indonesia)

16:40~17:20 Discussion

Session 2 Integrated water management

13:10~13:40 Keynote Speech: Dr. B. A. M. Bouman (IRRI)

13:40~14:00 Application of Integrated Water Resources Management for Mae Klong River Basin, Thailand: Banha Kwanyuen et al(Thailand)

14:00~14:20 A Reservoir Operation Method Based On Temporal Water Allocation For An Irrigation System In A Tropical Monsoon Climate: M. Yanuar et al(Indonesia)

14:20~14:40 Regional Water Allocation Model For Evaluating Spatial and Temporal Characteristics of Water Shortage in Paddy-Farming Areas:

Tzai-Hung Wen et al(Taiwan)

14:40~15:00 Optimal Management of Agricultural Wastewaters for Improving River Water Quality: Shigeya Maeda et al(Japan)

15:00~15:20 Coffee break

15:20~15:40 Analysis of Water Management in a Irrigation Project of Run-of-river System in Southern Thailand: KONO Satoshi et al(Japan)

15:40~16:00 Future Prospect of Studying Agricultural Water Management in India: Naoya Fujimoto (Sri Lanka)

- 16 : 00 ~ 16 : 20 An Integrated and Public Participated Water Management Policy in Taiwan: Chen, S. -H. et al(Taiwan)
- 16 : 20 ~ 16 : 40 Studies on Run-Off, Soil Erosion and Sedimentation using Water Erosion Prediction Project (WEPP) in Cidanau Watershed, Banten Province, Indonesia:Budi I. Setiawan et al(Indonesia)
- 16 : 40 ~ 17 : 20 Discussion
- Session 3 Environment and Food security
- 13 : 10 ~ 13 : 40 Keynote Speech: Ms. Sasha Koo (FAO)
- 13 : 40 ~ 14 : 00 NPS pollutant discharge characteristics from paddy fields -Current research trend in Korea: Joongdae CHOI et al. (Korea)
- 14 : 00 ~ 14 : 20 Decrease of Nitrogen Concentration Containing High Nitrate Nitrogen in the Paddy Fields: Hideo NAKASONE (Japan)
- 14 : 20 ~ 14 : 40 Evaluation of nitrogen removal in a paddy field and a reservoir within an agricultural watershed: Kato Tasuku et al. (Japan)
- 14 : 40 ~ 15 : 00 Field Learning Program using Paddy Plots in Wakamatsu, Kitakyusyu:Nongdi Wu et al(China)
- 15 : 00 ~ 15 : 20 Coffee break
- 15 : 20 ~ 15 : 40 Sustainable Rice Production Achieved By Mutation Breeding: A. W. Baloch et al(Pakistan)
- 15 : 40 ~ 16 : 00 Improving the productivity of degraded cropping systems in Northeast Thailand: Improving farmer practices with innovative approaches:Andrew D. Noble (Thailand)
- 16 : 00 ~ 16 : 20 Development of a distributed water balance model with agricultural water use mechanisms in Monsoon Asia: Shimizu Katsuyuki et al(Japan)
- 16 : 40 ~ 17 : 20 Discussion
- 9月8日(木)
- 9 : 30 ~ 10 : 00 Keynote Speech: Sustainable water management: Dr. Keizrul bin ABDULLAH (President of ICID)
- 10 : 00 ~ 11 : 00 Reports of each session conclusion
- 11 : 00 ~ 11 : 30 Discussion
- 11 : 50 ~ 12 : 10 Kyoto declaration
- 12 : 10 ~ 12 : 20 Closing ceremony: Dr. Tadatsugu TANAKA (President of JSIDRE)

**第 57 回 ICID 国際執行理事会 / 第 3 回アジア地域会議における
“ WATSAVE ワークチーム ” への発表論文募集について (第 1 報)**

2006 年 9 月、マレーシア・クアラルンプールにおいて、第 57 回 ICID (国際かんがい排水委員会) 国際執行理事会および第 3 回アジア地域会議が開催されます。ICID を構成する委員会、作業部会のうち、“ WATSAVE ワークチーム ” (WT-WATS) より、当地で行われるワークショップの論文を募集しております。

ICID 日本国内委員会は、下記の要項に従い論文募集を行いますので、御希望の方は要旨を作成の上、ご所属とお名前をご連絡下さい。応募いただきました要旨については、ICID 日本国内委員会で選考を行い、当会議で発表することが適当と判断したものに付きましては、日本からの発表論文として提出する予定としています。なお、選考結果につきましては、採用本人への通知をもって代えさせていただきます。

記

・ 会議開催概要

開催期間 : 2006 年 9 月 10 日 ~ 17 日

開催場所 : マレーシア・クアラルンプール

・ WATSAVE ワークチーム / ワークショップでの発表論文募集

【テーマ】

- 1 Modern Technologies for Water Saving
- 2 Improved Water Saving through Pressurized Irrigation
- 3 Evaporation Control Measures for Water Conservation

・ 論文採用 ~ 提出までの流れ (予定)

論文要旨 (abstract) 作成 , 提出

ICID 日本国内委員会での選定 , WATSAVE ワークチームへの提出

WATSAVE ワークチームでの選定 , ICID 日本国内委員会へ連絡

論文 (Full-paper) 作成 , 提出

・ 論文要旨 (abstract) 作成要領等

論文作成要項の詳細につきましては、次号以降に掲載予定にしております。

なお、ご興味のある方は、末尾記載事務局まで直接ご連絡下さい。

内容 : 前述のテーマに沿った内容であること。(ただし、Water Saving を幅広く解釈し、「効率的な水管理」という視点で解釈いただいても結構です。)

言語 : 英語

文字数 : 500 ~ 600 ワード

締切り : 2005 年 8 月 12 日

注) 論文 (Full-paper) については、最終締切りを、10 月 31 日といたします。

【参考】

ICID 第3回アジア地域会議

メインテーマ: Transforming Irrigated Agriculture into an Efficient Engine of Growth

サブテーマ:

1. Holistic approach for increasing food production under competitive water user scenario
2. Irrigated agriculture for food, economic, social & environmental need
3. Integrated approach on sustainability of irrigated scheme; future challenge in food production

今回公募する WATSAVE ワークチームへの論文だけでなく、上記テーマに基づいた論文募集あるいは他の部会が開催するワークショップ等での論文募集が今後行われます。詳細が決まり次第、本誌でお知らせする予定です。

. 要旨・論文送付先および問合せ先

〒151 0001 港区虎ノ門1 21 17 虎ノ門NNビル

(財)日本農業土木総合研究所

☎03 3502 1389 FAX 03 3502 1329

担当: 吉見 暁 satoru-yoshimi@jiid.or.jp

八百川朋世 tomoyo-yaokawa@jiid.or.jp

第43回粉体に関する討論会講演募集

日時: 平成17年11月2日(水)~11月4日(金)

会場: 韓国 国立釜山大学校 上南国際会館

釜山広域市金井区長箭洞山30

TEL +82 51 510 7000 FAX +82 51 583 7070

討論主題: 1. 粉体, ナノ粒子の生成

2. 機能性微粒子と新素材

3. 粉体物性

4. バイオ・医薬・食品・化粧品と粉体

5. リサイクル・環境・エネルギーと粉体

6. 粉体プロセス・シミュレーション

7. 粉体一般

一般講演(ポスター発表を含む), 特別講演, 会社カタログ・パネル展示を予定

特別講演: 4件

一般講演: 口頭発表とポスター発表を予定

発表言語は英語です。母国語(日本語もしくは韓国語)の使用(講演, 要旨共)がどうしても必要な場合のみ, 申込み時にその旨を届けていただき御使用下さい。

展示: カタログ・パネル展示

懇親会: 平成17年11月3日(木)午後6時30分から午後9時まで(上南国際会館, HYOWON ホールにて)

講演申込締切: 7月1日(金)

予稿原稿締切: 9月9日(金)

参加申込締切: 9月23日(金)

その他の詳細(申込み方法, 共催, 協賛学協会等)については以下のホームページをご覧ください。下記連絡先までお問い合わせ下さい。

URL: <http://www.che.kyutech.ac.jp/chem21/Busan43J/B43J.html>
: <http://home.pusan.ac.kr/~busan43/>

参加費: 一般(共催学協会所属会員): 10,000円(当日12,000円)

一般(その他): 12,000円(当日14,000円)

学生: 5,000円

懇親会費: 5,000円

今後の新情報, 変更等も随時ホームページに掲載いたしますので, 上記のURLでお確かめ下さい。

連絡先: 第43回粉体に関する討論会 日本側事務局

〒805 8550 北九州市戸畑区仙水町11

九州工業大学工学部物質工学科 応用化学教室

鹿毛浩之

☎093 884 3325, FAX 093 884 3300(応用化学事務室)

E-mail: funto43@che.kyutech.ac.jp